

LOVE

ALFA ROMEO

155現地試乗. GRAN TOURISMO ALLEGGERITA. ALFA ROMEO 1992 MODELS. GIULIA COUPE STORY. DISEGNO DI ZAGATO.

新時代のアルファたち. アルファ・スパイダーの系譜. アルフィスタ

たちの生活. TIPO 33/2 STRADALE. MUSEO で見るアルファの歴史. ALFA SPECIALISTS IN ITALY. SPECIAL SHOP. and OTHERS.

[アルファ・ロメオが大好きだ]

もっとアルファと仲良くなるための1冊まるごとライブ・マニュアル。



[アイ・ラブ・アルファ・ロメオ]

カー・マガジン10月号増刊 第14巻第16号
平成4年10月1日発行

カー・マガジン1992-10. 増刊



A.F.R.A.



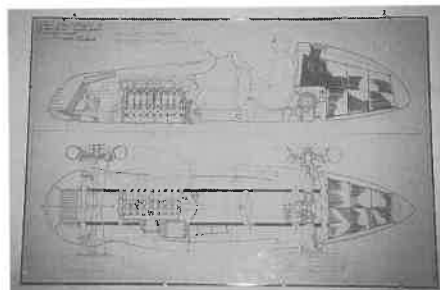
ミラノ市内にあるA.F.R.A.の建物の内部は、アルファのパーツで溢れんばかり。初代ジュリエッタが1台造れると豪語するだけあって、ボディ・パネルからメカニカル・パーツまで、あらゆる年代のアルファのパーツが棚にぎっしり詰まっている。その数はおよそ5万種類!とのこと。国内/外の注文比率はほぼ50:50で、特に海外は業者からの引き合いが多いらしい。写真左のカウンターの後ろにも、小物部品が並んでいるのが分かる。その隣の人物は、A.F.R.A.のオーナーであるジョルジュエッティ親子。

A.F.R.A.とはAccessorio Fornitura Ricambi Autoveicoliの略、つまり自動車の交換用部品供給という意味だ。その名の通りアルファのパーツを専門に取り扱っている会社である。

会社が設立されたのは1946年で、初めは社外品の生産および販売を行っていたが、'65年にアルファ・ロメオとの間に純正パーツの製造、販売に関する契約を結び、メーカーが供給中止したパーツに関してはその設計図を譲り受け、製造を担当するようになった。もちろんこのような業務を行っているのは、世界中でこのA.F.R.A.だけだ。

ミラノの市街地にある建物はそのほとんどがパーツ倉庫に充てられており、在庫量に関してはまさに驚くほど。しかもここだけでは収容し切れず、市郊外にもうひとつの倉庫を用意している。

ちなみに現在もっとも引き合いの多いのはスパイダー系のパーツとのこと。また今後はアルフェッタやアルファスッドのパーツにも力を入れていく予定だという。



上のティーポ159の設計図はオフィスに飾られていたもの。何とヨアッキーノ・コロンボ自らが描いたものだそうです。



ALFA
SPECIALISTS
IN
ITALY

生産中止されたパーツの設計図を譲り受け、
生産・販売を行うアルファ用パーツの専門店